

【5】すごろくなど テキスト504

対象学年：小学3年生以上

新幹線かるた

指導案

ごあいさつ

日本の国を好きになる、誇りに思う心を育む授業内容として「日本のものづくり」をテーマにとりあげることがあります。例えば私たちの身近にある「新幹線」には、世界に誇る日本のものづくり技術がたくさん取り入れられています。日本の新幹線は世界中で注目されており、その技術は海外にも輸出されています。このような日本のものづくり技術を子どもに伝えるのは教師の大切な仕事です。

子どもたちが大好きな「新幹線」、その仕組みや技術、働く人々などについて楽しく学ばせたいと思います。日々の授業で是非、ご活用ください。

TOSS 代表 向山洋一

【5】すごろくなど テキスト504 「新幹線かるた」 対象学年：小学3年生以上（指導時間適宜）

1. 学習のねらい

①かるたをして楽しみながら、新幹線に関わることを知る。

2. 準備するもの

カルタ はさみ 指導案1部

3. 展開

①札を作る

札は先生が事前に作っても良いですし、高学年であれば、子供たちに作らせることも可能です。

<p>安全を守る ドクターイエロー</p>	<p>あ</p> 	<p>改札は 人も機械も 迅速に</p>	<p>か</p> 
<p>一度見てみたい 700系から見る 富士山</p>	<p>い</p> 	<p>切符を 拝見いたします</p>	<p>き</p> 
<p>美しい景色を 走る新幹線</p>	<p>う</p> 	<p>暗いところ どんとどん進む 夜間作業</p>	<p>く</p> 
<p>笑顔で対応 駅員さん</p>	<p>え</p> 	<p>検査して びゅんびゅん 走る新幹線</p>	<p>け</p> 
<p>大空と海の間を 駆け抜ける</p>	<p>お</p> 	<p>今度また 乗りたい車両 100系に</p>	<p>こ</p> 

青い線に沿って、1枚ずつ切り取ります。

文字だけの札が「読み札」です。

写真と囲み文字で表されている札が「取り札」です。

②グループを作る

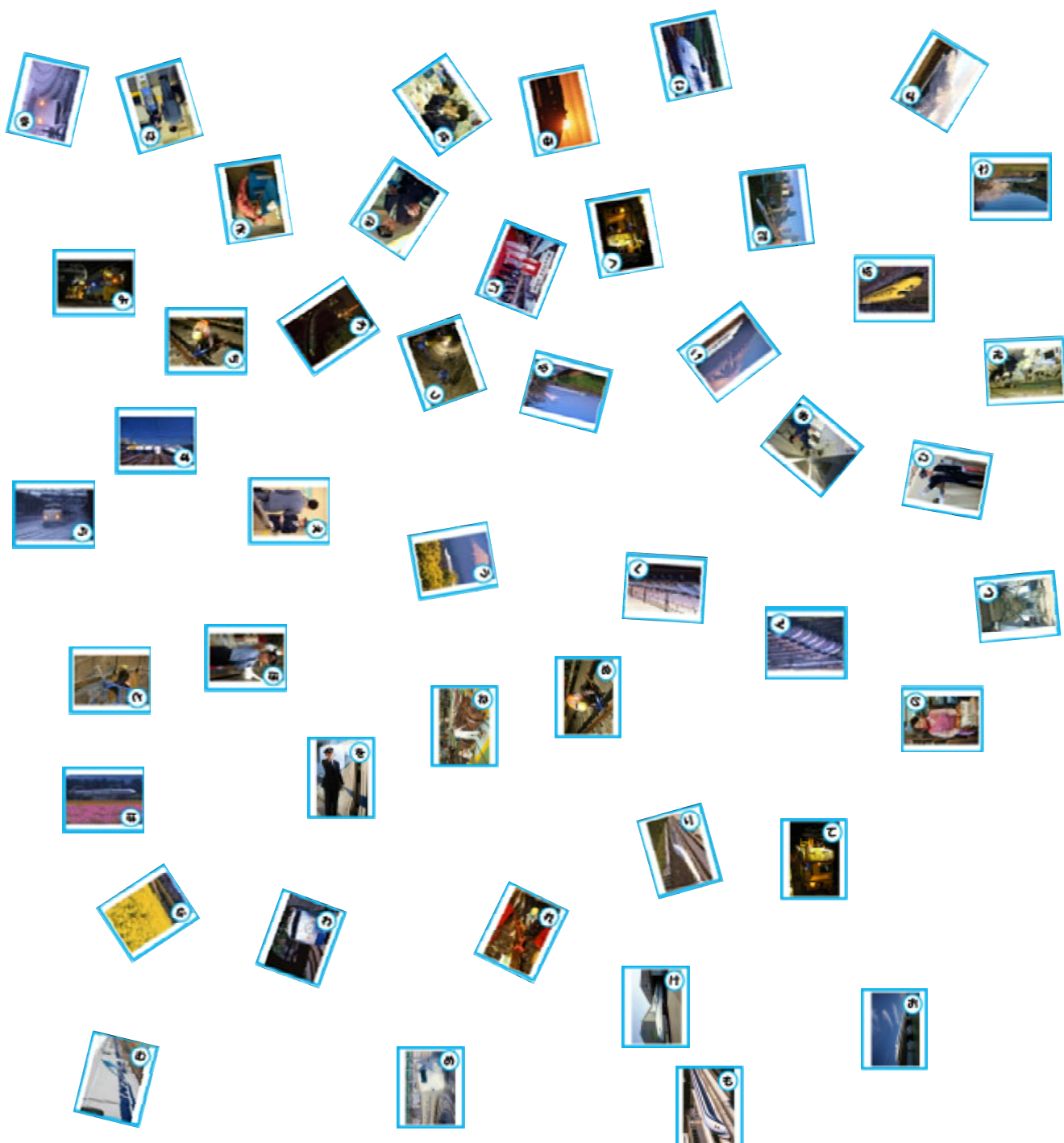
2人以上であれば、何人でもできます。

指示1 かるたをします。班で集まりなさい。

③札を並ばせる

指示2 札を並べます。

自分の前にだけ置く子がいないかを確認します。特に決まった置き方はありません。
5～6人で行う場合は、以下のような置き方になります。



④札を読む

説明 1 かるたをゆっくり読みます。先生が読んでいるカードを取るのです。

「取れた人？」と言って、手を挙げさせます。
(以下、札を1枚読み終わるたびに1つの項目を短く教えていきます)

説明 2 取るときは、「はい」と言いなさい。

「はい」と言って、取ることを教えます。教室が活気づきます。次の1枚を読みます。

説明 3 取った時、同じ手が出る時がありますね。手が下にあった方が早いのです。

複数の手が出た時の注意です。次の1枚を読みます。

説明 4 取った時、同時で、どちらが早いかわからない時もあります。その時はじゃんけんします。

同時に手をついた時は、じゃんけんというルールを教えます。次の1枚を読みます。

説明 5 札を探す時には、手は体のどこかにつけておきます。手を空中にぶらぶらさせません。

手の位置を教えます。次の1枚を読みます。

説明 6 取った札は、右か左はしに置きます。

どの子も札を取っています。その置き方を教えます。次の1枚も読みます。
子供は、調子にのってきています。教室にざわつきも感じられます。
この「ざわつき」を取り除かねばなりません。

説明 7 声を出した人は、お手つきとして1枚札を出してもらいます。

これで、ピタッと静かになります。

説明 8 山田君、声を出しているのでお手つきです。

これで更に静かになります。

説明 9 間違えた札を取ったら、お手つきとして取った札から1枚を場に出します。

お手つきについて教えます。

これで1回戦終わりです。
1回戦でほぼ大切なことをすべて教えています。
以上のように一時に一事の原則にそって教えると効果的です。